

JFA



DREAM 福島アクションプラン

2018

2018年3月8日

公益財団法人日本サッカー協会
公益社団法人日本プロサッカーリーグ





DREAM 福島アクションプラン 2018

趣 旨

2011年3月以降、日本サッカー協会（JFA）と日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）は、東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島の復興に向けて、国内外のサッカーファミリーの力を集結し、復興支援特任コーチの派遣をはじめ様々な活動を行ってきたところです。

なかでも福島は、東日本大震災の地震・津波に加え、福島第一原子力発電所の事故により長く苦しんできました。昨年、避難指示の解除により、ようやく本格的復興がスタートしたところです。Jヴィレッジ開設以来、トップレベルのトレーニング場所として、サッカーを越えた様々なスポーツのキャンプ地として、地域の皆さんの交流場所として、JFA アカデミー福島の拠点として、マリーゼのホームスタジアムとして、サッカーは20年間福島とともに歩んできました。

福島の復興は、あらゆる復興のなかで最も困難なチャレンジです。今まさに立ち向かう福島の皆さんを、サッカーは変わらぬ仲間として寄り添い、ともに歩んでいきたいと考えています。

プログラムの基本的考え方

福島の復興は息の長い挑戦です。しっかりと根を下ろし、腰を据えた活動を行います。声を上げたり、気持ちを送るだけでなく、具体的に人が動く活動を軸に据えていきます。当面4年間、毎年プログラム内容は更新しますが、2021年の復興・創生期間の終了に当たって、本格的に見直します。

当面の活動の基本的方針は以下の通りです。

- ・ サッカーの振興を通じて、復興に立ち向かう勇気や挫けない気持ちを応援します。特に、これから復興を担う子供たちへの指導を大事にしたいと考えています。サッカーだけでなく、他のスポーツや音楽などに、応援の輪を広げていくつもりです。
- ・ こうした活動を通じて、生活環境等の福島の現実を発信します。福島の皆さんだけでなく日本中・世界中に現実を届けることで、誤解や思い込みを解いていきます。そのために、まずサッカー関係者があらゆる機会を捉えて現場を見るつもりです。

具体的プログラム

○指導者の派遣とフロントオフィスの運営（2017年から継続）

週 1 回程度の指導補助からチームの指導を完全に預かるまで、派遣先に負担をかけないかたちで、具体的ニーズに応じた指導者派遣を展開します。サッカーの指導者だけでなく、食育や体力強化など様々な分野のスペシャリストを派遣します。被災地域を中心に開始してきた活動の範囲を全県に展開できるよう取り組むとともに、サッカー以外のスポーツや音楽等に拡大していきます。そのため、J ヴィレッジに開設したフロントオフィスを基点に、現場のニーズを把握するとともに派遣に向けたワンストップサービスを行います。

○日本サッカー協会及びJリーグの理事会・実行委員会の開催（2017年から継続）

日本サッカー協会の理事会と J リーグの理事会・実行委員会を福島で開催し、復興に取り組む福島の現実をできる限り目で見て肌で感じる機会を作ります。

○Jクラブによる応援活動の実施（2017年から継続）

J リーグ全 54 クラブが、それぞれの身の丈に合った福島復興の応援活動を実施します。具体的活動内容はフロントオフィスの専用 HP で発信します。

○J ヴィレッジカップ U18 の開催（2017年から継続）

福島県サッカー協会及び福島県の協力を得て、県の枠を越えた育成年代の男子と女子の大会を開催します。大会は再開した J ヴィレッジで開催し、将来的には海外のチームを招待し国際大会としていきます。

○J ヴィレッジカップの開催（2019年から）

J ヴィレッジが主催し、J リーグの協力を得て、プロサッカーチームのプレシーズン大会を開催します。福島の皆さんにカテゴリーの壁を越えたプロサッカーの醍醐味をお届けします。

○J ヴィレッジの再開（2018年）

2018 年夏の一部再開、2019 年 4 月の全面再開に合わせて開催されるイベント、セレモニー等に協力するとともに、開催が決定したキャンプ、大会等の情報を順次発信していきます。

○Jリーグ公式戦の開催（2019年から）

福島ユナイテッド FC の J リーグ公式戦をはじめとして、できるだけ多くの公式戦を開催することで、トップレベルのサッカーを福島の皆さんにお届けします。



DREAM 福島アクションプラン 2018

○日本サッカー協会主催大会、Jリーグ主催大会等の開催（2019年から）

日本サッカー協会主催の各種大会やJリーグ主催大会等をJヴィレッジで開催し、福島にサッカーによるにぎわいを創出します。

○現役Jリーグ選手やなでしこリーグ選手によるサッカー教室の実施（2017年から継続）

Jリーグ、日本プロサッカー選手会、Jリーグ選手OB会、なでしこリーグ、福島県サッカー協会の協力を得て、毎年福島で現役Jリーグやなでしこリーグ選手によるサッカー教室を開催します。

○キッズプログラムの展開（2017年から継続）

福島県サッカー協会の協力を得て、被災地域を中心に、幼稚園・保育園への巡回指導など、キッズプログラムの推進を強化していきます。

○校庭・園庭等の芝生化の推進（2017年から継続）

福島県や地元自治体の協力を得て、被災地域の小学校や幼稚園・保育園の校庭・園庭の芝生化をより一層推進していきます。

○JFA こころのプロジェクト「夢の教室」の推進（2017年から継続）

福島県内の小学校・中学校における現場のニーズを把握しながら、JFA こころのプロジェクト「夢の教室」の実施をより一層推進していきます。

○JFA アカデミー福島の再開に向けた取り組みの実施

JFA アカデミー福島の再開に向けた取り組みを実施します。

（策定）2017年3月11日

（改訂）2018年3月8日

協 力 団 体

一般財団法人福島県サッカー協会
一般社団法人日本プロサッカー選手会
一般社団法人Jリーグ選手OB会
一般社団法人日本女子サッカーリーグ
株式会社Jヴィレッジ

DREAM 福島アクションプラン 2017 活動報告

- 1月11日 サッカー関係者(元日本代表岩政大樹選手及び JFA アカデミー選手等)
福島第一原発視察及び地元高生へのサッカー教室を実施(広野町)
- 3月9日 日本サッカー協会理事会において、「DREAM 福島アクションプラン 2017」が承認され、アクションプランを正式に推進することが決定。
- 3月13日 日本サッカー協会田嶋幸三会長、Jリーグ村井満チェアマン、JFA アカデミー出身女子選手(8名)が福島第一原子力発電所を視察。視察後、田嶋会長、村井チェアマンが福島県内堀雅雄知事を訪問しアクションプランを説明した。JFA アカデミー女子選手は、檜葉町、広野町の小学生のサッカー教室を実施した。



- 4月1日 DREAM 福島アクションプランフロントオフィス開設
- 6月12日 DREAM 福島アクションプラン SAMURAI BLUE(日本代表)チャリティーオークションを実施(日本サッカー協会)
- 6月16日 Jリーグ福島会議(JFA ハウス(御茶ノ水)) 開催
Jクラブのホームタウン担当者等 15 クラブが参加(一部 Web 参加)
- 6月20日 南相馬市立高平小学校 JFA こころのプロジェクト夢の教室を実施(南相馬市)
元日本代表波戸康弘さんによる夢の教室を開催(DREAM 福島活動第一弾(JFA))



SAMURAI BLUE(日本代表)
チャリティーオークション(JFA)



JFA こころのプロジェクト夢の教室(南相馬市)

6月27日 経済産業省「平成29年度地域経済産業活性化対策費補助金(地域の伝統・魅力等発信支援事業)の交付決定」

※Jヴィレッジによる事業申請(2/3補助)Jリーグクラブとの連携し、福島の現状を知ってもらうことで風評被害払拭等につなげる。

7月13・14日日本プロサッカー選手会(JPFA)によるJリーグ選手会向けのリフレッシュ講習会の開催及びいわき市のトレセン選手を対象にした指導実践

ガンバ大阪今野泰幸選手等Jリーグの現役選手やOBが、講習会に参加し、地元の小学生を対象に指導実践を行った。

7月14日 DREAM 福島 HP 開設 <https://www.dreamfukushima.jp/> (経産省魅力等発信支援事業)

7月22日 ベガルタ仙台プレシーズンマッチ招待(ベガルタ仙台vsヴィッセル神戸)

Jリーグ TEAM AS ONE 事業 ベガルタ仙台が企画した福島の子どもたちへ支援活動。福島の子ども61名を含む約100名が招待され、参加した。(選手との交流)



7月27日 復興庁調査事業「Jヴィレッジ」復興シンボル」中核拠点化に向けた体制構築に関する調査業務」受託(Jヴィレッジ)

地域のニーズ調査、実証事業(Jヴィレッジスポーツフェスタ2018(1月14日参照))を行い、本事業をきっかけとして地域との関係構築を図る。

8月3日 鹿島アントラーズジュニアユースが広野町を訪問

鹿島アントラーズの協力により広野町の小学生を対象にサッカー教室を開催。子どもたちも、年の近いジュニアユースのお兄さんたちとの交流ということもあり、大変楽しそうにサッカーを楽しんだ。



9月9・10日 U-18 日本代表監督 影山雅永氏による指導者講習会及び「JFA 復興フェスティバル、福島 FA フットボールデー2017in 福島」開催

JFA 復興フェスティバルに合わせ、郡山市で、U-18 日本代表監督の影山雅永氏(福島県いわき市出身)を講師に、県内の指導者約 50 名を対象に研修会を開催。



9月14日 JFA 理事会の開催(広野町)

日本サッカー協会の理事会が JFA アカデミー男子寮で開催され、会議の前に JFA の田嶋幸三会長はじめ理事会メンバーが「ヴィレジ」の復興状況を視察。田嶋会長は、「すぐにも代表のトレーニングができそう」とコメントした。



9月19日 U-19 日本女子代表 GK コーチ西入俊浩氏が県北 GK スクール開催

日本サッカー協会、福島県サッカー協会の協力により、福島市の十六沼サッカー場で「福島県 GK プロジェクト 県北 GK スクール」を開催。U-19 日本女子代表 GK コーチの西入俊浩氏を講師に約 70 名の小中学生に GK の指導を行った。



10月29日 福島ユース年代コーチ塾 2017 開講(福島県サッカーチャレンジプロジェクト)

日本サッカー協会、福島県サッカー協会の協力により、いわき市の新舞子ヴィレッジにて「ふくしまユース年代コーチ塾 2017」を開催。福島県内の指導者のレベルアップを目的に4回開催予定。第1回目は、約30名の指導者が実技・講義の講習を受講。



10月29日 Jリーグ公式戦 FC東京ホームゲーム(味の素スタジアム)にて福島県PR活動を実施(経産省事業)

味の素スタジアム(東京)で、福島県PRを実施。福島県と福島ユナイテッドの協力で、お米200パック配布(福島県)、特産物販売「ふくしまルシェ」(福島ユナイテッド協力)を実施。スタジアムではDREAM福島アクションプランの福島復興PR動画が上映。(経済産業省地域の伝統・魅力等の発信支援事業)



福島県PRの様子



福島ユナイテッド物産販売の様子

11月4日 Jリーグ ルヴァンカップ決勝(埼玉スタジアム2002)での福島県PR活動を実施

Jリーグ、福島県、南相馬市の協力で、福島県産新米の配布や南相馬市の観光物産販売等を行い、福島の実状をPR。(経産省魅力等発信支援事業)



- 11月12日 ガンバ大阪サッカー教室(広野町)(相双地区サッカー協会、いわき市サッカー協会)開催
ガンバ大阪、広野町、相双地区、いわき市サッカー協会の協力で、サッカー教室を実施。
DREAM 福島のJリーグクラブによる初の事業。
Jリーグ TEAM AS ONE、経産省魅力発信事業を活用。



12月3日福島県立小高産業技術高等学校(南相馬市)(スポーツ栄養学講演)

管理栄養士・公認スポーツ栄養士で、トップアスリートのサポートをされている片岡沙織博士が、部活動を実施している生徒・指導者の皆様約100名に「スポーツ栄養学～バランスの良い食事の考え方～」について講演。日々のトレーニングの礎になる体づくりのための正しい知識等をこれからも伝えていく。



12月5日 三浦知良選手等横浜FCサッカー教室(いわき市・榎葉町)・Jヴィレッジ視察(榎葉町)

横浜FCの東日本大震災復興支援活動「夢で逢えたら2017」を、いわき市立豊間小学校、榎葉町榎葉小学校で実施。現役最年長の三浦知良選手のほか、横浜FCの選手・スタッフが参加し子どもたちとサッカー事業や夢の教室などで交流した。また、事業終了後にJヴィレッジを視察した。



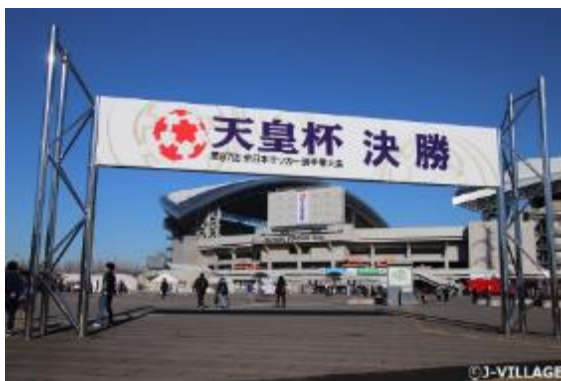
12月28日 第3回ふくしまユース年代コーチ塾 2017「高円宮杯第29回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会」(味の素フィールド西が丘(東京))

福島県内の指導者のレベルアップのための事業。今回は、高円宮杯(U-15)決勝戦のゲーム分析を実施した。JFA アカデミー福島の中田康人氏に講師に、講義は U15 年代の指導について、サッカーの原理原則に基づいた考え方を学んだ第1、2回を踏まえ、11対11のゲームでの成果と課題をグループごとにディスカッションし、結果を発表した。



2018年1月1日 第97回天皇杯決勝(埼玉スタジアム2002)

第97回天皇杯決勝戦。日本サッカー協会、福島県等の協力のもと、福島県産の新米「天のつぶ」やJヴィレッジパンフレット等を配布するなど、福島県及びJヴィレッジのPRを実施した。



1月14日 Jヴィレッジスポーツフェスタ(復興庁、福島12市町村対象)

復興庁の事業の一環として、スポーツ及びトップアスリートとのふれあいを通じ、福島被災12市町村の地域間交流や家族・世代間の交流を図ることを目的としたJヴィレッジスポーツフェスタを楡葉町で開催。当日は、吉野正芳復興大臣も参加し、約170名の子どもたちやその家族と世代を越えスポーツで汗を流した。また、日本プロサッカー選手会等にご協力いただき、高橋秀人選手会長や茂木弘人選手(福島ユナイテッドFC)、影山雅永監督(いわき市出身 OB/U-19 日本代表監督)らが参加し、参加者と一緒にスポーツを楽しんだ。

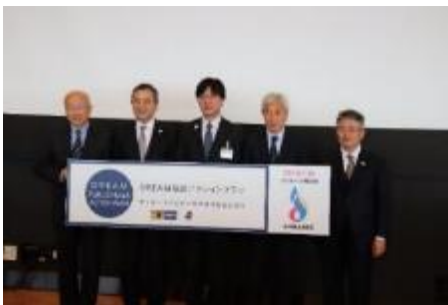


2月3日 浦和レッズレディース榎葉町こどもサッカー教室

福島県榎葉町を中心に浜通り地区の子どもたち約120名が参加。浦和レッズレディースの選手とスタッフ約30名が学年ごと4つのグループに分かれ、芝生の上でサッカーを楽しんだ。



2月15日 Jリーグキックオフカンファレンス 2018



Jリーグキックオフカンファレンスにて、DREAM 福島アクションプラン「J ヴィレッジ 2018 年夏再始動～福島復興のシンボルとして～」と題し、福島の現状やJヴィレッジの再開、復興支援活動を報告。また、今後のDREAM 福島アクションプランについて、村井満チェアマンから説明した。

2月17・18日 U-18 女子 J ヴィレッジカップ

第2回 U-18 女子 J ヴィレッジカップをいわき新舞子ヴィレッジにて開催。ふたば未来学園高等学校など福島県内の3チームを含む計6チームで初日は予選リーグ、2日目に順位決定戦が開催され、2日目にはなでしこジャパンの高倉麻子監督によるサッカー教室も実施した。

